

令和3年度行政評価 施策評価シート (令和2年度実績)

施策名 地域の防犯対策等の充実

施策コード 5030103

1. 施策の担当	
主管課	市民協働部 自治振興課
関係課	道路公園課、学校教育課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第3章 市民と協働し、すべてのひとが輝けるまちづくり(自律・協働・多様性)	節 第1節 地域共助・地域コミュニティ
	施策	地域の防犯対策等の充実	
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> 警察署や地域安全センター、関係機関との連携のもと、防犯運動を推進するとともに、市民の防犯意識の高揚を図り、地域の自主防犯活動の推進を支援することにより、地域コミュニティ力を高め、安全で安心して暮らすことができるまちづくりを進めます。 地域の安全のため、LED防犯灯や防犯カメラの設置などの施設整備を進めます。 			
現況と課題			
<ul style="list-style-type: none"> 1市2町(泉佐野市、熊取町、田尻町)、警察署、各種防犯団体に組織する防犯協議会を中心に、防犯に関する取り組みを行っています。また、地域の団体や自主的なボランティアなどの活動も積極的に行われています。 高齢化社会が進展する中、多様化する犯罪から市民を守るため、関係機関と連携し、防犯パトロールなどの防犯体制の充実・強化を図ることが必要です。 安全、安心なまちづくりを進めるには、防犯環境の一層の整備が必要です。 			
施策目標			
対象(誰を、何を、どこを)			
市民			
意図(どのような状態にしたいのか)			
コミュニティなどの地域組織と連携し、防犯活動を進めます。			

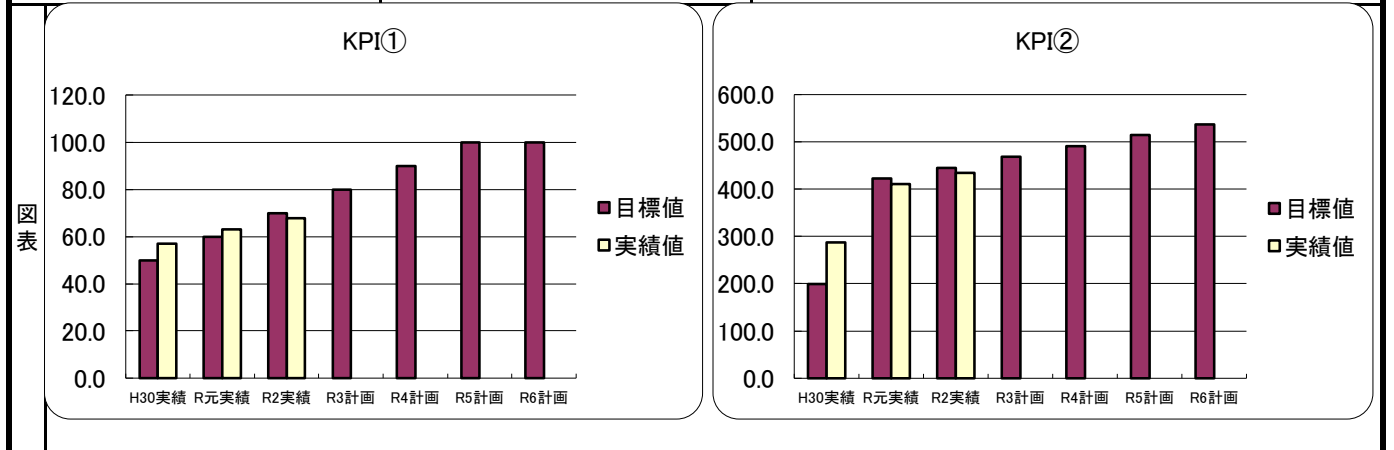
3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度(偏差値)	50.2						
重要度(偏差値)	66.5						

4. 施策にかかるコスト								
	単位	R元決算	R2決算					
コストの内訳	人件費	千円	10,395	6,799				
	事業費		50,068	45,344				
	フルコスト		60,463	52,143				
財源の内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		0	100				
	市債		0	0				
	その他		3,478	4,484				
	一般財源1(=フルコスト-特定財源)		56,985	47,559				
	一般財源2(=直接事業費-特定財源)		46,590	40,760				

5. 施策の重要業績成果指標(KPI)							
① KPI 1 防犯灯のLED化率							
項目	H30実績	R元実績	R2実績	R3計画	R4計画	R5計画	R6計画
目標値	50.0	60.0	70.0	80.0	90.0	100.0	100.0
実績値	57.0	63.1	67.9				
達成度	114.0	105.17	97.0				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
従来の蛍光灯タイプの防犯灯から、環境に優しく防犯効果の高いLED防犯灯への更新を推進している。		防犯灯の充実及びLED化の促進のため、今後も年間10%程度のLED化率の増加を目指す。			各町会・自治会からの防犯灯設置補助金の要望を予算に反映させて、LED灯への推進を図った。		

② KPI 2		防犯カメラの設置件数（商店街・市営駐輪場・市・教育委員会・町会・自治会）					
項目	H30実績	R元実績	R2実績	R3計画	R4計画	R5計画	R6計画
目標値	199.0	422.0	445.0	468.0	491.0	514.0	537.0
実績値	287.0	411.0	434.0				
達成度	144.22	97.39	97.53				

KPI設定の根拠	KPI目標数値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
H25年以前は商店街20台、市営駐輪場44台 防犯カメラを設置 H26年に市内8駅周辺に48台市管理防犯カメラを設置 H27年から市内13小学校区に1台ずつ通学路防犯カメラの設置を推進 H28年から町会・自治会に対し、補助金を出して町会・自治会管理の防犯カメラの設置を推進	町会・自治会管理の防犯カメラを増やして、安心安全なまちづくりを推進する。 教育委員会管理の通学路防犯カメラを増やして、児童生徒の登下校時の見守り活動の充実を図る。	町会・自治会の管理による防犯カメラを毎年10台ずつ増やして行く。 教育委員会の管理による通学路防犯カメラを毎年13台ずつ増やして行く。 自治振興課の管理による防犯カメラを平成30年度に100台、令和元年度にも100台設置。



6. 施策の事後評価			
	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	防犯灯は、毎年設置数を増やしており、地域の安全を図っている。また、街頭犯罪件数についても減少をめざし、警察や周辺自治体、関係機関と連携し、犯罪の防止に努める。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	安全・安心な街づくりは、市民共通の願いであり、今後も地域の防犯体制の強化が必要である。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	犯罪のない安全な街づくりは社会共通の目的であり、そのためにも地域ぐるみの防犯体制をさらに充実させる必要がある。
	合計点	(10点中) 9点	
	総合評価	A	犯罪のない安全な街づくりは社会共通の目的であり、引き続き事業の継続が望まれる。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		B	引き続き、安心・安全なまちづくりに努めること。
三次評価 (理事者による評価)		B	引き続き、安心・安全なまちづくりに努めること。

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R2年度決算額			R3年度予算	一次評価
予算コード	事務事業名		人件費	事業費	一般財源		
1	01001200	防犯灯助成事業	2,930	29,338	29,338	0	B
2	01003200	防犯推進事業	3,869	16,006	11,422	0	B
合計			6,799	45,344	40,760	0	